

# 中学校社会

## 1 中学校社会科の指導と評価について

### (1) 地理的分野の指導と評価

#### ① 地理的分野における改訂の要点

##### ア 「A 世界と日本の地域構成」

- ・地理的認識の座標軸を形成することを意図している。
- ・地理学習の楽しさや有用性を確認し、その後の学習に展開する。

##### イ 「B 世界の様々な地域」

- ・各州の地域的特色を大観（各州の自然、産業、生活・文化、歴史的背景などについて概観）し、結果として基礎的・基本的な知識を身に付ける。
- ・一般的課題と地域特有の課題とを捉える。

##### ウ 「C 日本の様々な地域」

- ・観察や野外調査、文献調査などの実施方法を学ぶことを通して、地理的なまとめ方の基礎、地理的技能を身に付ける。
- ・自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の項目を取り上げる。

#### ② 評価方法の工夫 ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（事例1）

- ・ペーパーテストの工夫改善：授業では取り扱っていないことを出題

#### ③ 評価場面の精選 ※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（事例2）

##### ア 重点化

- ・小單元ごとに重点を置く観点を設定し、重点化する。それぞれに三観点すべての評価場面を設定するのではなく、單元全体を通してバランスよく評価場面を設定する。

##### イ 系統化

- ・「技能」や「思考・判断・表現」の評価について、学習の進行に伴う生徒自身の習熟の高まりを考えた評価にする。

### (2) 歴史的分野の指導と評価

【基本的な考え方】：「指導の改善」が図られてこそ「評価の改善」が実現する。

#### ① 「見方・考え方」を働かせて考察した結果、理解した結果を評価する。

→教師は、生徒が「見方・考え方」を働かせることができる課題（問い）の工夫をする。

##### ア 小学校の問いは「誰が」「どこで」「どんな」の問いであるが、中学校は「他の事象との比較・関連」の問い。

（例）小：江戸幕府はどのように世の中を治めたのか。どのような政策を進めたか。

中：なぜ、江戸幕府は、長い間政治の権力を保てたのだろうか。

##### イ より高度・より深くではなく「見方・考え方」の違いに注意する必要がある。

歴史的な見方・考え方：「社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること」とし、考察、構想する際の「視点や方法（考え方）」として整理。

#### ② 単元の構造を踏まえた指導計画及び評価計画の作成を進める。

##### ア 「評定に用いる評価」と「学習改善につなげる評価」を整理する。

##### イ 「学習改善につなげる評価」については記録する必要はないが、生徒の状況を確認し、適切な助言を与えることが考えられる。

#### ③ 「主体的に学習に取り組む態度の評価」は「見通し」と「振り返り」が重要である。

##### ア 生徒が継続的に記述した記録を活用するなど、生徒自身が学習を振り返ることができる

材料（資料）を工夫する。

イ 「粘り強い取組を行おうとしている側面」「自らの学習を調整しようとする側面」を統合的に評価するために、単元計画等の工夫が必要となる。

### （３） 公民的分野の指導と評価

#### ① 「学習改善につなげる評価」と「評定に用いる評価」

ア 「学習改善につなげる評価」とは、学習状況を見取り、生徒の成長を認め、励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う日常の学習改善につなげる評価のこと。

イ 「評定に用いる評価」とは、観点別学習状況の評価や評定のための資料として用いる評価のこと。

ウ 全ての観点について、単元の学習過程で「学習改善につなげる評価」を行い、生徒が学習改善を図る機会をもった上で、「評定に用いる評価」を行うように単元の評価計画を作成する。

#### ② 単元における問いの構造

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（事例6）

ア 第一次で「単元を貫く問い」を設定し、第六次で解決を図る。

イ 単元末で単元の始めに立てた見通しを踏まえて学習を振り返る。

#### ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

ア 「自らの学習を調整しようとしながら粘り強く取り組む状況」については、見通しを踏まえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かすこととして見いだした内容により評価。

イ 「主体的に社会に関わろうとする態度」については、単元の学習後も関心をもって自ら追究し続けたい、解決、改善を図っていききたいこととして見いだした、問いの内容と社会的意義についての記述によって評価。

ウ 単元の始め：見通しを立てさせる、単元の途中：「学習改善につなげる評価」を行い適切に指導する、単元の終わり：単元の学習を振り返る時間をしっかり確保する。

## 2 中学校社会科における1人1台端末の活用について

### （１） 内容の取扱いについての配慮事項

① 学び方や調べ方を大切にし、生徒の主体的な学習を一層重視

② コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の積極的な活用

→GIGA スクール構想の中で1人1台端末の有効活用を目指す。

### （２） 社会的事象等について調べまとめる技能

中学校学習指導要領の参考資料に、次のように整理されており、これらの技能の育成を目指す。

① 情報を収集する技能

手段を考えて課題解決に必要な社会的事象等に関する情報を収集する技能

② 情報を読み取る技能

収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取る技能

③ 情報をまとめる技能

読み取った情報を課題解決に向けてまとめる技能

## 3 参考となる資料等について

（１） 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編 （文部科学省 平成29年7月）

（２） 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校社会

（国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和2年3月）